



校長室だより

令和6年度

4月20日

NO. 5

ホタルを守り 環境を守り ふるさとを守る



十七日、本年度は秦梨大橋のたもとで「岡崎ゲンジボタル幼虫放流式」が行われました。秦梨小学校からは、四年生から六年生までの児童が参加しました。市長さんもおっしゃっていました。が、「河合の宝」であり「岡崎の宝」であるゲンジボタルを守るために、もう五十七年も活動を続けているようで、これはとても貴重で大切な活動です。

そうした活動のおかげもあり、昨年は灰畑で一五〇匹ものホタルが見られたそうです。(あいにく六月二日の水害により、多くが流れてしまいました)また、秦梨小でも、昨年は四年生が「ホタル観賞会」を開いたり、委員会でもホタルの世話をしたり、三月には、学校東の水路に、学校で育てた幼虫を放流したりするなど、ホタルの保護活動に取り組んできました。いつか、学校でホタルが飛び交う姿が見られることを願い、今年も四年生が受け継ぎます。

ホタルの幼虫が育つためには、エサとなるカワニナが必要で、けれどそのカワニナが、今は上流での工事により石が泥で覆われてしまったりエサが減ったり、大きな鯉に食べられてしまったりして数が減り、それでホタルの幼虫も減ってしまったそうです。ホタルの幼虫はカワニナだけを食べるため、カワニナがいなければ育ちません。

カワニナは、昔は人の野菜くずを食べていたそうで、カワニナもホタルも、人里で人間と共存してきました。だから、ホタルを守ることは自然を守ることであり、私たちの生活を守ることもなるのです。「秦梨の宝」を守ろうという気持ちで、故郷の川に、みんなで幼虫を放流しました。

◇令和6年度 専門委員会◇

・4年生学年代表 畔柳咲希さん

・5年生学年代表 小嶋悠真さん

・6年生学年代表 沓名雄生さん

・健康委員長 沓名雄生さん ・体育委員長 市橋佑紳さん ・学習環境委員長 鈴木心陽さん